

通信 **ともに** **第25号**

発行者/認定NPO法人ともに
 住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目
 でんわ (0136) 55-5828
 FAX (0136) 55-5829
 Eメール info@npo-tomoni.com
 公式ホームページ http://www.npo-tomoni.com
 公式ブログ http://blog.canpan.info/npotomoni/

2015年6月22日発行

精神科医 土田正一郎の



診察室で考えていること(仮)

その14 「私が薬」
 注:「私は薬」ではない

精神科の治療では、その治療者の持っている「徳?」、「人間性?」以上の治療はできないと思っている。同じ薬を使っても、そこから得られる効果が違うのは、治療者の人間的な部分加わるので、仕方のないことだと思っている。信頼関係が大切だとよく言われているのは、このことだと思う。「信頼関係?」とつい声が上がってしまいそうになる。私は信頼関係を意識はするがそれほど最優先事項にしていないのが、本心である。信頼を得ることと迎合することの境界が不鮮明になっているからだ。為すべきことは明確である。

私が薬である。有効な作用もあるが、思いがけない有害事象も起きることを知っている。 ともに顧問(自称)

気になるあのこと **よ** **どく** **読ん得!**
 とことん書きます

その10 エッセイ 山菜採りの醍醐味



文:ちば

私にとって山菜採りのいちばんの醍醐味は、たとえ穴場であっても一番先に良好なものを採ったときです。次は新しい場所を見つけたときです。そして知り合いに下処理しておすそ分けしてほめられたときです。

山菜は自然にも生えていますが、入植者が去り、荒れてしまった田畑や、牛がいなくなり笹がはびこってしまった牧場、伐採後植樹され数年たった土地には鳥が運んでくれた種子から芽を出す山菜もあります。

原野の開拓者が去り、再び原野に戻っていきつつある山を通るとき、この地の歴史の通過点で自分が受けている恩恵に感謝せずにはいられなくなり、切なくも思うのです。



今月の一枚

三島さん家*1の菜の花

(5月23日 ワークショップ利用者Oさん撮影)

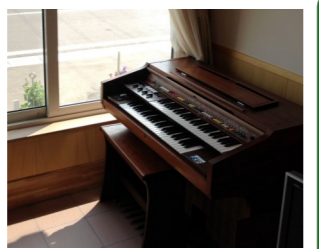
講師派遣～要請にこたえて講義をしています

- WRAP [元気回復行動プラン] ファシリテーター養成研修～札幌市・コンポステラ 5月2-6日(かみよ)
- 地域作業療法学演習「障がい当事者から学ぶ」～江別市・北海道文教大学 5月29日(ながおか)

各事業報告～5月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい
 契約/移行3名、継続B17名 見学/4月2名、5月9名 体験/4月1名、5月4名
- ◆グループホームよろこび 現利用者/16名(定員20名) 見学/4月2名、5月3名、体験/4月3名、5月2名
- ◆法人会員 正会員17名、賛助会員 団体2 個人67名

◆寄付物品
 食材(お米、行者にんにく、アスパラガス、明太子、にんじん、うど、たけのこ、ねぎ、みつば～) エレクトーン*4、アイロン、文房具、コルクシート、食器、シン、ハンガーラック、書類棚、牛乳パック、着物生地、文庫本 他



↑演奏会でお披露目したい・・・

編集後記

今月はサッカー女子ワールドカップが開催。日本連覇に向けて正念場です。ところで精神障がい者のフットサル(室内サッカー)クラブがあるのをご存知ですか? 道内にいくつかあります。興味あれば調べてみてはいかがでしょうか(かわさき)

平成27年度通常総会 喫茶開業など地域・企業と結び付く取組みを目指す!
 ～ 障がい者支援の充実に向け活動方針決まる ～

5月23日(土)午前10時30分から、ともに創る地域の和「わっくわく」相談室で平成27年度通常総会が開催され予定議案すべて満場一致で承認されました。平成24年度から計画してきた夜間対応グループホーム・法人事務所建設事業の完成報告のほか認定NPO法人を取得した報告があり、「わっくわく」完成で注目された精神障がい者支援の関心を今年度は地域・企業と結び付く取組みの中で法人全体の事業の定着を目指すことが確認されました。(固定資産や借入金の増加など会計決算についてはHPに載せる予定です)



平成26年度会計決算

経常収益	91,389,931円
経常費用	61,111,398円
当期正味財産増減額	30,278,533円
前期繰越正味財産額	15,429,905円
次期繰越正味財産額	45,708,438円
固定資産	117,188,623円
長期借入金	81,000,000円



- 新役員体制<役員改選>**
- 理事長 小林 敦子
 - 理事 黒木 満寿美
 - 千葉 栄子
 - 川崎 哲
 - 神代 直人
 - 長岡 一夫
 - 監事 中山 誠人
 - 田中 祐司

ホームページのアドレスが変わります

今月より認定NPO法人ともにのホームページアドレスが変わります。内容充実のホームページもぜひご覧ください。

<http://www.npo-tomoni.com>

わっくわく事業 完成祝賀会レポート

総会終了後、「わっくわく」の食堂と喫茶コーナーで完成祝賀会を執り行いました。ご来賓の倶知安町長西江さまや町内会長細田さまはじめ44名のたくさんの方にきていただき、たいへん盛り上がった会になりました。開催にあたって、第一親和会さまには餅つきのご協力を、東林寺さまには臼と杵や食器をお借りしました。また、写真のたくさんのお花やご祝儀をいただきましたことに紙面をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



ペタンペタン 町長も一生懸命



町長の祝辞と乾杯で いよいよ式典開始



祝辞を述べる 設計者の小澤典仁氏



ワークショップ調理部職員が腕によりをかけて作った料理

おしながき

- ・山菜五目いなり
- ・のり巻き
- ・茶わん蒸し
- ・とり肉の信田巻き*2
- ・刺身盛り合わせ
- ・ポテトグラタン
- ・八宝菜
- ・サラダ盛り合わせ
- ・山菜のてんぷら
- ・ユリ根のかき揚げ
- ・おつまみ盛り合わせ
- ・ヨーグルトムース

山菜五目いなり

とり肉の信田巻き

祝賀会欠席の方から寄せられた祝辞

- ・「わっくわく」のスタートを心よりお祝い申し上げます。地域の和が大きく広がっていくことを期待しております。
- ・「わっくわく」の完成、おめでとうございます。ご案内いただきありがとうございます。
- ・このたびはおめでとうございます。都合で出席できませんが、みなさまのご活躍を願っております。
- ・完成祝賀会ご案内いただきありがとうございます。地域に根ざしました業務推進めざしてがんばってくださいませ。



たくさんのお花やご祝儀をいただきました。

アウトリーチ支援研究会で講演（北大病院精神科神経科教授も出席・・・）



5月16日土曜日、札幌市のエクセルホテル東急で開かれた「第8回北海道精神科アウトリーチ*3支援研究会」で、小林理事長が一般講演『病院と地域を繋ぐケア会議～地域の視点で語ってみる～』と銘打って講演しました。

法人紹介のビデオ上映をしたあと、「今日語ってみる」として

- ・アウトリーチからイメージすること
- ・医療従事者だったこと
- ・家族の立場であること
- ・ケア会議の中において感じたこと

について、自らの経験からの想いを熱く語りました。



グループディスカッションの後、各グループから出た質問に答えました。ケア会議の形式を教えてくださいという質問には、当日参加していた病院と法人の職員が急きょ壇上に集まり、ケア会議を再現しました。

「ケア会議はいつ行なえばいいのかわからない」という質問には「動物的勘」と答え、会場中が大爆笑。時期が来たら開くというのではなく、職員の感性が頼りであるということ、その感覚を磨いていくことが大事であると答えました。

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 製造部～丹精込めてつくってます

製造部は日々ものづくりに励んでいます。目標は夏から秋にかけてのイベント販売、売切れが出た「いこ～」冬物。利用者にはそれぞれ得意なものとそうでないものがあり、障がい特性もさまざまなので、その人ごとにできる作業を設定し工夫しながらアドバイスしています。

一点ものだけれども同じタイプの製品を同じ品質で量産できるようにすることが課題です。努力していきます。

利用者や製造部職員が、細部にまで丹精込めて作ったこの商品。札幌の「いこ～」などで販売します。



布で編み込むぞうり（製造途中）（一度履くとやめられない！）



バスケット（カバー付き）



サマーマーヤンのペットボトルの



職員の指導を受け、バッグの飾り部分を編む

現在作っているもの

- ・ペットボトルケース（サマーマーヤン、保冷シートつき）
- ・布地のぞうり
- ・シュシュ
- ・カバー付きのバスケット
- ・編み物（帽子、レッグウォーマーなど（来シーズンの冬に向けて製作中））

ほか

はみ出し豆知識 *3 アウトリーチ：治療を受けていない人に対し、専門職がチームを組み訪問支援をおこなうこと（厚生労働省HPより抜粋）